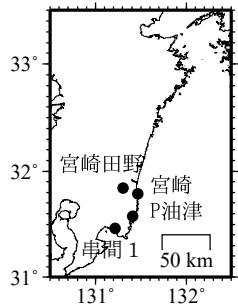
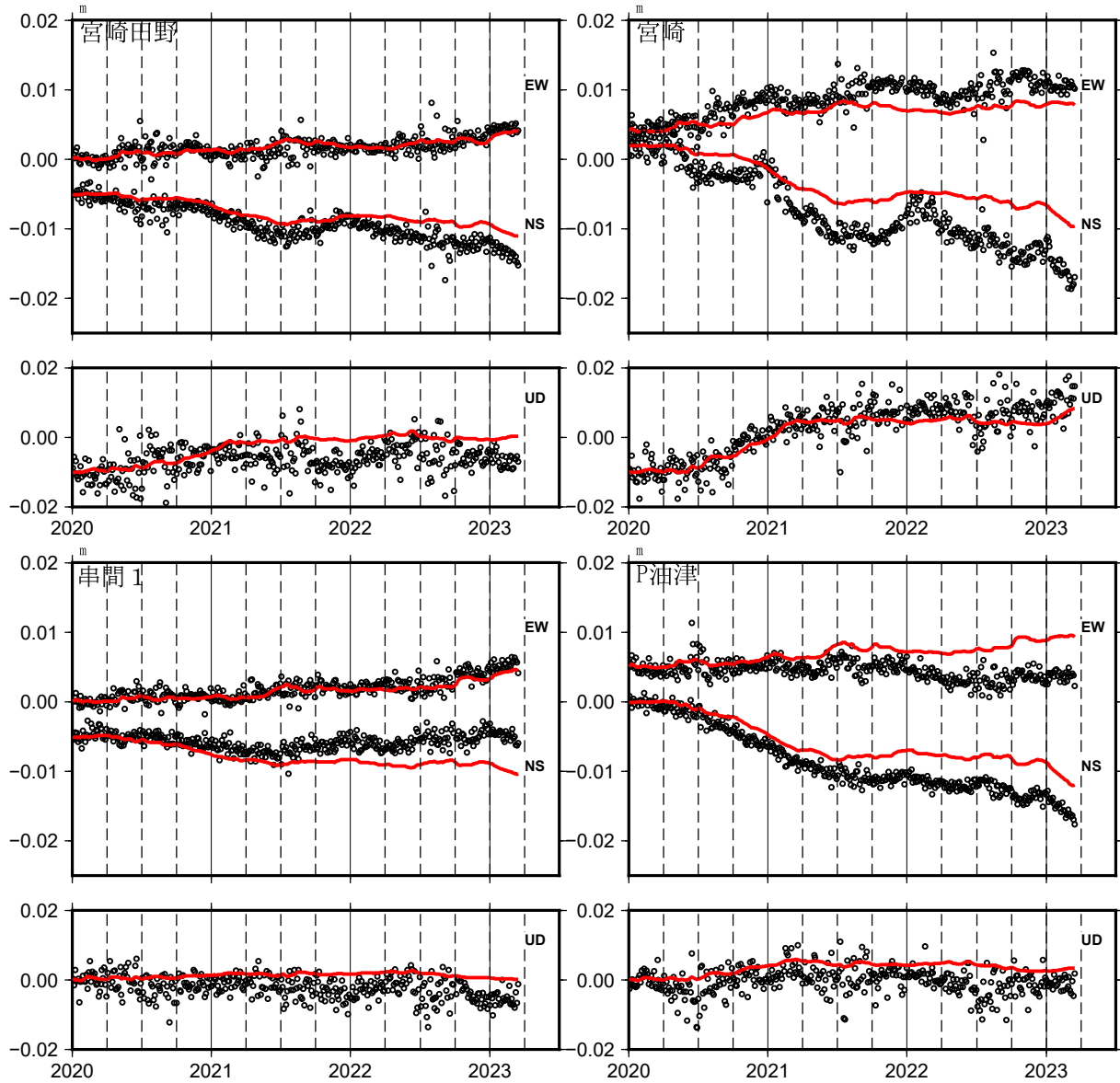


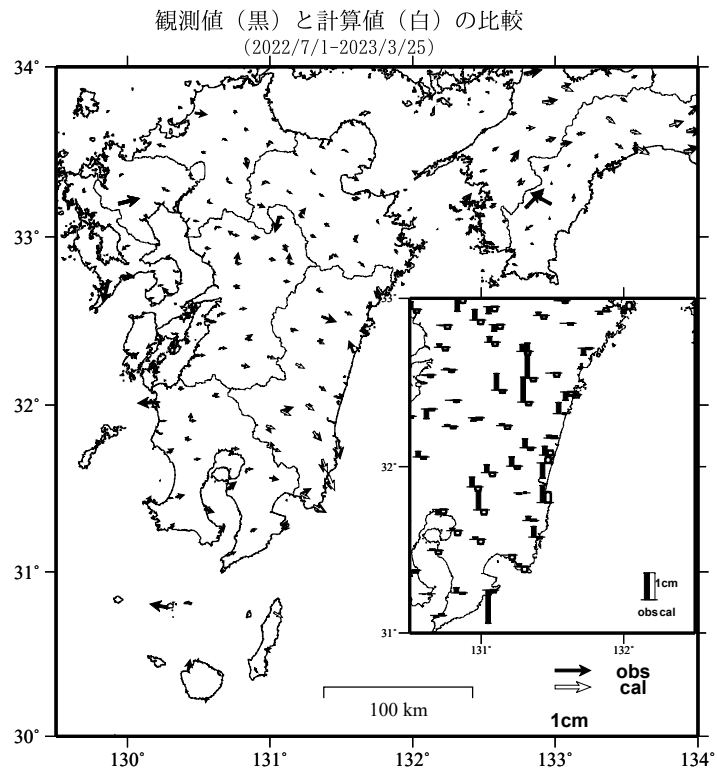
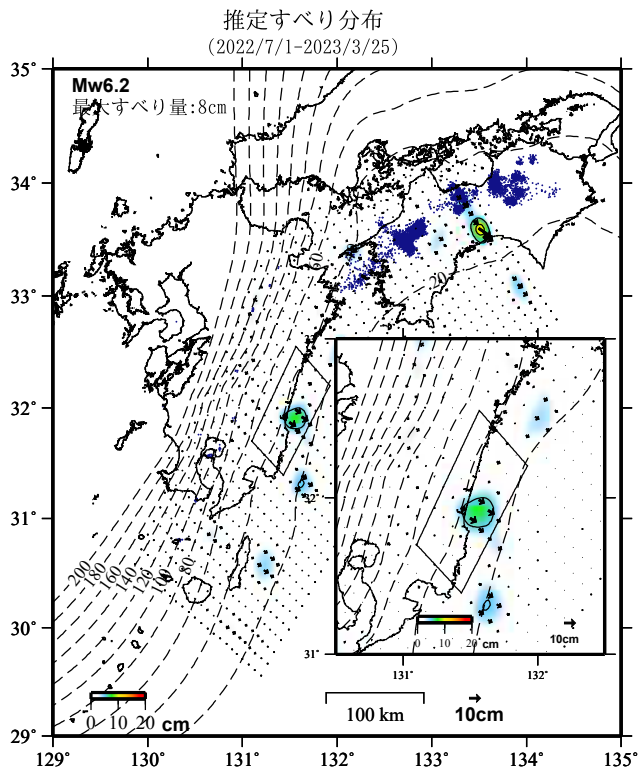
九州地域の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン



EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

GNSSデータから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

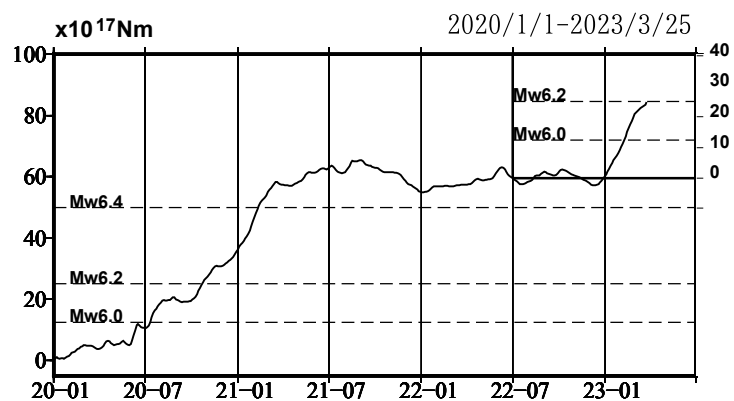


Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)
F5解 (2020/1/1-2023/03/11) + R5解 (2023/03/12-2023/3/25)
トレンド期間: 2006/1/1-2009/1/1 (年周・半年周成分は補正なし)
日向灘附近: 2007/10/1-2009/3/1
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2022/7/1-2023/3/25)
固定局: 三隅

* 電子基準点の保守等による変動は補正済み
* 日向灘の地震 (2022/01/22, Mw 6.6) の地震時変動を除去している。
* 平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震及び平成28年 (2016年) 熊本地震の粘弾性変形は補正している (suito, 2017; 水藤, 2017)。

モーメント*時系列 (試算)



* モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合のMw (モーメントマグニチュード) に換算できる。